

# MITSUBISHI

三菱ルームエアコン

## 据付工事説明書

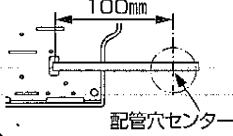
販売店・工事店さま用

冷媒 R410A

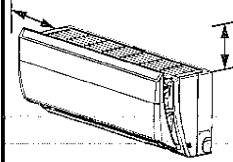
### 据付情報

●室内ユニットの幅が890mmになりました。

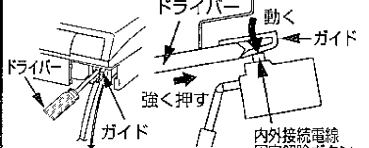
●位置決め穴より、100mmの位置が配管穴のセンターとなります。



●可動式丸洗いパネル・換気機能搭載のため必ず ↔ 部の寸法を確保してください。



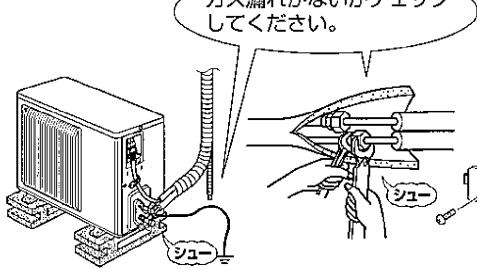
●室内ユニットの内外接続電線の外しかた



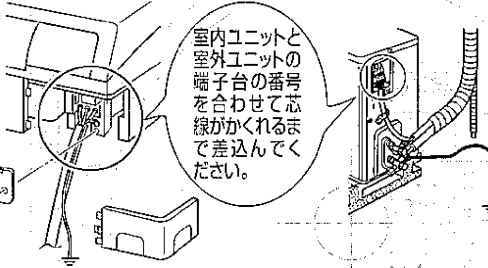
上図のように、端子台手前のガイドにドライバーを差込むと、ガイドが動き、内外接続電線固定解除ボタンを押し、内外接続電線を引くと外すことができます。

### 据付工事は、以下の点に特に注意してください。

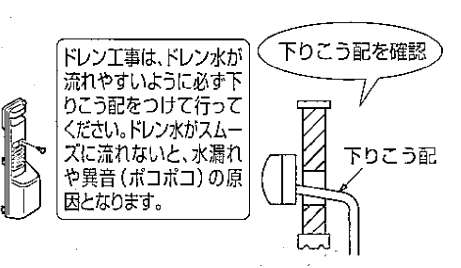
#### 1 配管接続



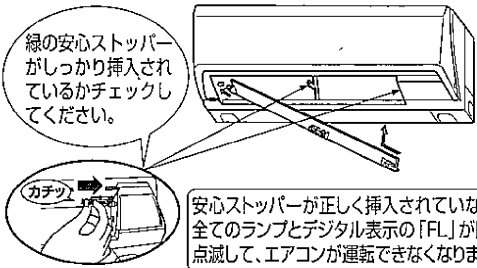
#### 2 内外接続電線の誤配線



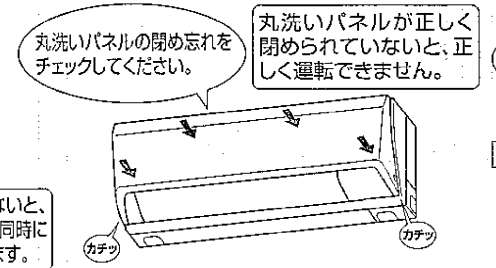
#### 3 ドレン排水



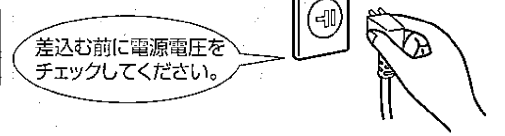
#### 4 安心STOPパーの外れ



#### 5 丸洗いパネルの閉め忘れ



#### 6 異電圧による故障



7 **試運転を必ず実施してください。**

### チェックシート (据付終了後、必ずチェックしてください。)

□の中にV印をいれて確認してください。

- 電源電圧は規定通りですか？
- 内外接続電線は端子台へ芯線がかくれるまで挿入しましたか？
- 内外接続電線およびアース線は電線固定具で固定しましたか？
- 電源コードおよび内外接続電線の中間接続を行っていませんか？
- アース線の接続は確実ですか？
- 冷媒R410A用配管または、指定肉厚の配管を使用しましたか？
- 配管接続部のリークテストを行いましたか？
- 真空引きを行いましたか？
- ストップバルブの弁棒は全開ですか？
- ドレンホースの接続は確実ですか？
- 水を流してドレン排水を確認しましたか？
- 本体裏側配管収納部内の配管はフェルトテープを巻きましたか？
- 据付場所の強度はエアコンの重量に十分耐える場所で、騒音や振動が増大しないところですか？
- エアコンの下に家具、カーテンボックスなどがあり、吹き出し空気をさえぎっていませんか？
- 据付寸法を確保してありますか？

- 上下および左右風向フラップは確実に取付けられていますか？
- 丸洗いパネルの閉め忘れはありませんか？
- 換気機能を建築基準法に定められた機能にする場合、第三種機械換気設備として工事しましたか？
- 換気ホースの接続は確実ですか？
- 換気ホースの接続ジョイントおよび虫よけカバーは、ビニールテープを巻いて固定しましたか？
- 換気ホースが接続できない場合、“換気機能なし”の設定を行いましたか？
- 試運転は行いましたか？
- ドレン工事を適切に行い、異音(ポコポコ)が発生しないことを確認しましたか？
- (安全のために必ず守ること)の△警告△注意の項目をチェックしましたか？

#### お客さまへの説明

- 取扱説明書の手順で正しくわかりやすくご説明してください。
- 室内ユニットの清掃方法についても取扱説明書の手順にしたいご説明してください。
- この据付工事説明書は据付後お客さまにお渡しください。

### 使用部品 (下側の据付図を参照して確認してください。)

室内ユニット付属部品		
① 据付板		1
② ①の固定用ネジ 4×25		5
③ アルカリ乾電池 リモコン単4形		2
④ フェルトテープ(室内ユニットの据付けで使用)		1
⑤ サブリカートリッジ		1
⑥ ソケット(内径22mm 長さ30mmのホース付)		1
⑦ 換気ホース 内径30mm×1.2m		1
⑧ 換気ホース 内径22mm×1.5m		1
⑨ 接続ジョイント		2
⑩ 虫よけカバー		1

現地で準備していただく部品 (別売部品および一般市販部品)			
Ⓐ 内外接続電線 VVFケーブル3芯φ2.0mm	1	Ⓔ 配管固定用バンド	2~5
Ⓑ 冷媒配管(ごん包表示による)	1セット	⑬ ⑭の固定用ネジ	2~5
Ⓒ 断熱材 断熱発泡ポリウレタン 厚さ0.045 肉厚90mm(換気、ガス専用)	1	⑮ 冷凍機油	少量
Ⓓ 配管テープ	1	Ⓘ ピニールホース内径15mm(室外側15mm配管を接続する場合に使用)	1
Ⓔ 延長ドレンホースまたは、軟質塩ビホース内径15mm 硬質塩ビパイプVP16	1	Ⓛ アース棒(別売部品)	1
Ⓕ 壁穴用スリーブ(φ65mm、またはφ70mm以上)	1	Ⓜ ピニールテープ	1
Ⓖ 配管穴補修部品 バタ、カバー(または石膏等)	1		
室外ユニット付属部品			
⑪ ドレンソケット		1	

●据付前に付属部品を確認してください。  
●現地で準備していただく部品の数量は室内ユニット1台当たりの使用数です。別売の延長パイプには上記部品 Ⓐ~⑭ 相当が含まれております。

# 安全のために必ず守ること

- ご使用前に、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ据付けてください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 据付工事終了後、本説明書をお客さまにお渡しください。お客さまに、「取扱説明書」「保証書」とともに大切に保管していただくように依頼してください。

## ⚠ 警告 (誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果) に結びつく可能性があるもの。

- お客さま自身で据付けはしない。  
不備があると、火災・感電・ユニットの落下によるケガ・水漏れの原因になります。お買上げの販売店または専門業者に、ご相談ください。
- 据付けは、据付工事説明書にしたがって確実に行う。  
据付けに不備があると、火災・感電・ユニットの落下によるケガ・水漏れの原因になります。
- 据付けは、重量に十分耐える所に確実に行う。  
強度の不十分な所に据付けると、ユニットが落下し、ケガの原因になります。
- 電気工事は、「電気設備に関する技術基準」・「内線規程」を遵守し、据付工事説明書にしたがって施工し、必ず専用回路を使用する。  
電源回路容量不足や施工不備があると、火災・感電の原因になります。
- 室内外ユニット間の配線は、所定の内外接続電線を使用して確実に接続し、端子台接続部に内外接続電線の外力が伝わらないように確実に固定する。  
中間接続は、絶対に行わない。  
接続や固定に不備があると、火災の原因になります。
- 内外接続電線は、必ず単線を使用する。  
より線は絶対使用しない。  
電源供給や信号伝達ができず動作不良の原因になります。
- 可燃性ガスの漏れるおそれがある場所には据付けはしない。  
万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、爆発の原因になります。
- 電源コードの中間接続・延長コードの使用・タコ足配線はしない。  
接触不良・絶縁不良・許容電流オーバーなどにより、火災・感電の原因になります。
- 据付工事部品は、必ず当社付属部品および指定の部品を使用する。  
部品に不備があると、火災・感電・ユニットの落下によるケガ・水漏れの原因になります。
- 電源プラグを差込む際は、電源プラグ側だけでなく、コンセント側のホコリ・詰まり・ガタツキのないことを確認し、根元まで確実に差込む。  
ホコリの付着・詰まり・ガタツキがあると、感電・火災の原因になります。  
コンセントにガタツキがある場合は交換してください。
- 室内ユニットの電気品カバーおよび室外ユニットのサービスパネルを確実に取付け。  
室内ユニットの電気品カバーおよび室外ユニットのサービスパネルの取付けに不備があると、ほこり・水などにより、火災・感電の原因になります。
- 据付けや移設の場合は、冷凍サイクル内に指定冷媒(R410A)以外のものを混入させない。  
空気などを混入すると、冷凍サイクル内が異常高圧になり、破裂・ケガなどの原因になります。
- 作業中に冷媒が漏れた場合は、換気する。  
冷媒が火気に触れると、有毒ガスが発生する原因になります。
- 据付工事終了後、冷媒ガスが漏れていないことを確認する。  
冷媒ガスが室内に漏れ、ファンヒーター・ストーブ・コンロなどの火気に触れると、有毒ガスが発生する原因になります。
- 据付けは、R410A用に製造された専用のツール・配管部材を使用する。  
冷媒R410Aは、冷媒R22に比べて圧力が約1.6倍高くなります。専用の配管部材を使用しなかったり、据付けに不備があると破裂・ケガの原因になります。
- ポンプダウン作業では、冷媒配管を外す前に圧縮機を停止する。  
圧縮機を運転したまま、閉鎖弁(バルブ)開放状態で冷媒配管を外すと、空気などを吸引し、冷凍サイクル内が異常高圧になり、破裂・ケガなどの原因になります。
- 据付け作業では、圧縮機を運転する前に、確実に冷媒配管を取付ける。  
冷媒配管を取付けていない状態で、閉鎖弁(バルブ)開放状態で圧縮機を運転すると、空気などを吸引し、冷凍サイクル内が異常高圧になり、破裂・ケガなどの原因になります。
- フレアナットは、トルクレンチを用い指定の方法で締付ける。  
フレアナットの締付け過ぎがあると、長期経過後フレアナットが割れ冷媒漏れの原因になることがあります。

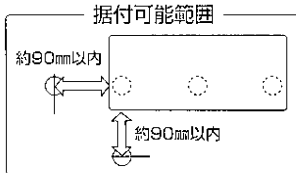
## ⚠ 注意 (誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの) 損害に結びつくもの。

- アース工事を行う。  
アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しない。  
アース工事に不備があると、感電の原因になります。
- 設置場所によっては、漏電ブレーカーを取付ける。  
漏電ブレーカーが取付けられていないと、感電の原因になることがあります。
- ドレン・配管工事は、据付工事説明書にしたがって確実に行う。  
ドレン・配管工事に不備があると、ユニットから水が滴下して家財などを濡らし、汚損の原因になります。
- 室外ユニットの吸込口やアルミフィンにさわらない。  
ケガの原因になります。

# 換気機能を建築基準法に定められた第三種機械換気設備としてご使用の場合

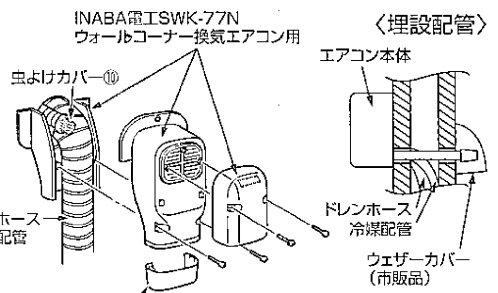
## 条件

- 第三種機械換気設備として使用される場合は、必ず以下の条件を満足してください。
- (1) φ70mm以上の配管穴を空けてください。  
(換気ホース⑧を350mm以下で使用する場合は、φ65mmの配管穴を使用できます。)
  - (2) 気密層または通気止により、天井裏などから部屋へのホルムアルデヒドの流入を抑制してください。
  - (3) 部屋の内装仕上げには基本的に「F☆☆☆☆」の建築材料を使用してください。  
「F☆☆☆」または「F☆☆☆」の建築材料を使用する場合は、下記条件を満足してください。  
S2: 第2種ホルムアルデヒド発散建築材料(F☆☆)の使用面積  
S3: 第3種ホルムアルデヒド発散建築材料(F☆☆☆)の使用面積  
A: 部屋の床面積  
 $2.8 \times S2 + 0.5 \times S3 \leq A$
  - (4) 部屋に給気口を配置し、据付位置は床面より1.6m以上の高さ、エアコンから0.45m以上離れたところに配置してください。
  - (5) 各配管方向に対し、右記据付可能範囲にて換気ホース⑦1.2m以下とし、曲げは1回、90°を超えて曲げないで据付けてください。  
換気ホース⑧を使用する場合は、350mm以下曲げずに配管してください。



## 取付方法

換気ホースの末端を配管穴より約40mm出るようにカットし、虫よけカバー⑩を取付け、INABA電気SWK-77Nウォールコーナー換気エアコン用または市販のウェザーカバーを取付けてください。



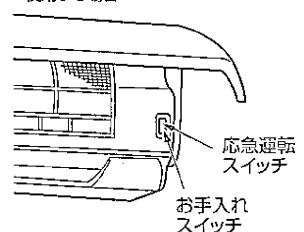
SD異径アダプタ SDI-77-66 ※SD-66タイプの化粧カバーを使用する場合

## 設定方法

試運転にて動作確認後、行ってください。

- (1) 電源プラグをコンセントに差込みます。
- (2) 応急運転スイッチを3回押します。
- (3) 換気ランプとデジタル表示が点灯していることを確認し、3秒以内にお手入れスイッチを押すと、デジタル表示が「Bn」になります。
- (4) 再度応急運転スイッチを押すか、3秒以上そのまま放置すると、「ピーツ」と鳴り、換気ランプがオレンジに点灯して設定が完了します。  
機械換気設備として設定した場合、リモコンの換気ON/OFFIに関係なく常時右表に示す換気量の運転を行います。  
第三種機械換気設備に設定しない場合は、(1)~(3)の後、3秒以内にもう一度お手入れスイッチを押してデジタル表示を「BF」にしてください。

能力帯	換気風量	換気騒音
2.2kW	12[m³/h]	27[dBA]
2.5kW	15[m³/h]	31[dBA]
2.8kW~	19[m³/h]	36[dBA]



# 据付場所の選定

お客さまの同意を得て据付けてください。

## 室内ユニット

- 吹出し空気をさえぎる障害物(カーテンボックス・タンス類)がない所。
- 本体を十分ささえられ振動がでない強度のある所。
- 温風(または冷風)が部屋全体に行きわたる所。
- 直射日光が当たらない所。
- ドレン排水が容易にできる所。
- テレビ、ラジオより1m以上・テレビのアンテナより3m以上離れた所。(映像の乱れや、雑音が生じることがあります。電波の弱い地域では前記距離を離してもテレビ、ラジオなどにノイズが入る場合があります。その場合はノイズが入らなくなるまで離してください。)
- 蛍光灯、白熱灯よりできるだけ離れた所。(ワイヤレスリモコンでの正常な操作ができなくなる場合があります。)
- フィルターの取外しおよび収納操作が可能なる所。

次のような場所でご使用になりますとエアコンの故障の原因または悪臭や有毒ガスが室内に入ってくる場合がありますので、避けてください。

- 機械油が多い所。
- 海浜地区など塩分が多い所。
- 温泉地などの硫化ガスが発生する所。
- その他周囲のふんい気が特殊な所。
- 油の飛まつや油煙がたちこめる所。(調理場や機械工場などではプラスチックが変質破壊することがありますので、ご使用は避けてください。)
- 高周波機器、無線機器などがある所。(誤動作します。)
- クレーン車、船舶など移動するものへの設置。

## 換気ホースが接続できない場合

配管・配線が壁内に既設されているなど、据付工事上の理由により換気ホースが接続できない場合、換気据付が不可能なことをお客さまに説明し、以下の作業を実施してください。

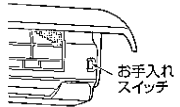
- 1) 換気ホースは接続しないでください。
- 2) 以下の「換気機能なし」の設定をしてください。

### 「換気機能なし」の設定方法

お手入れスイッチを押しながら、電源プラグをコンセントに差込みます。ブザーが「ピッ」と鳴り「換気機能なし」に設定されます。

### 「換気機能あり」に戻す場合

電源プラグを外し、お手入れスイッチを押しながら、電源プラグをコンセントに差込みます。ブザーが「ピッ」と鳴り「換気機能あり」に設定されます。



## リモコン

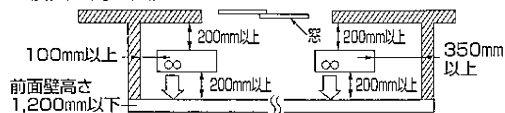
- 操作しやすく見やすい所。
- 幼児の手がとどかない所。
- テレビ、ラジオより1m以上離れた所。(映像の乱れや、雑音が生じることがあります。)
- 直射日光が当たらない所。
- ストーブなどの熱の影響をうけない所。
- 部屋に蛍光灯が取り付けられている場合には蛍光灯を点灯させ、信号が本体に受信されることを確認した位置へ取付けてください。

電子式点灯方式の蛍光灯(インバーター蛍光灯など)を付けた部屋では、信号を受けつけない場合があります。

## 室外ユニット

- 強風に当たらない所。(霜取運転中、室外ユニットに風が当たると霜取時間が長くなります。)
- 風通しの良いところが少ない所。
- 雨や直射日光が当たりにくい所。(直射日光が当たる場合は「日除け」(別売部品)をお使いください。)
- 積雪により室外ユニットが埋もれない所。
- 運転音や熱風・冷風がご近所の迷惑にならない所。
- テレビ、ラジオのアンテナより3m以上離れた所。(映像の乱れや、雑音が生じることがあります。電波の弱い地域では前記距離を離してもテレビ、ラジオなどにノイズが入る場合があります。その場合はノイズが入らなくなるまで離してください。)
- 可燃性ガスが漏れるおそれがない所。
- 運転音や振動が増大しないような丈夫な壁や強固な台を選定してください。
- 高所に設置する場合は、ユニットの足を必ず固定してください。
- ユニットは水平に設置してください。
- 後々のサービス、補修などを考慮した場所を選定してください。
- 空気の吸込口側にお子さまなどが触れるおそれがある場所に設置される場合は、「吸込口保護カバー」を用意しておりますので、最奇りの「三菱電機システムサービス」にお問合わせください。
- 4方向を壁で囲われた狭いベランダに設置する場合、少なくとも下図のようにスペースをあけてください。ただしこの場合には、冷暖房能力および消費電力は10%程度悪化する場合があります。風通しが悪くショートサイクルがおきやすい場合には吹出ガイド(別売部品)を付けると、冷暖房能力および消費電力の改善が図れます。

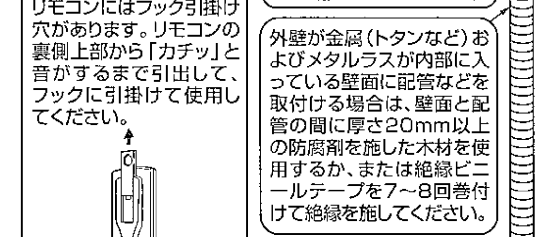
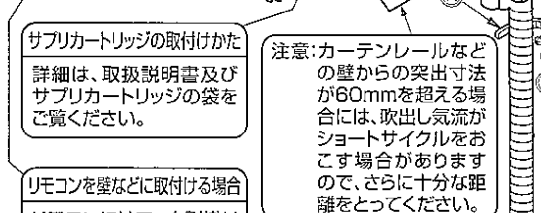
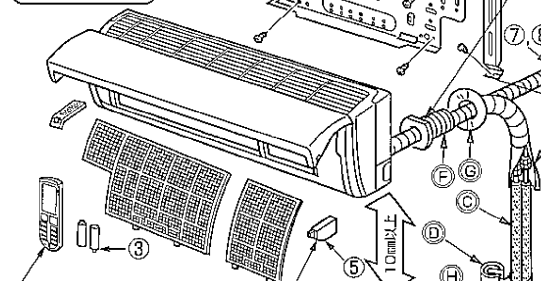
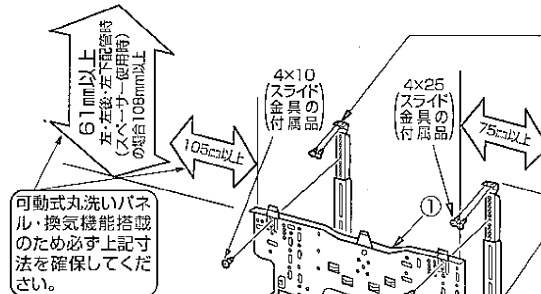
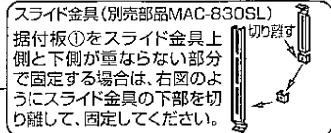
注: 複数並列の設置はできません。



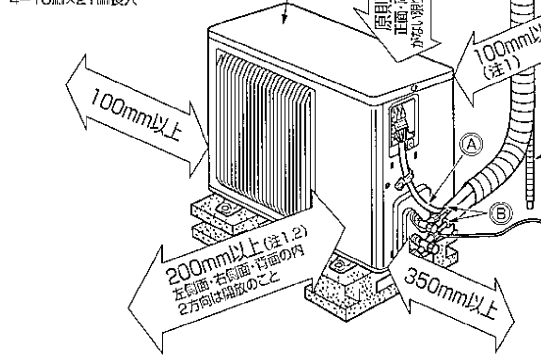
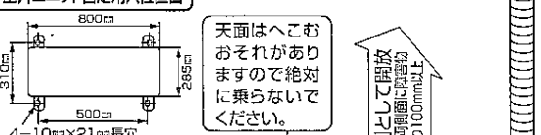
# 据付図

電源				冷媒配管許容値		
定格電圧	単相 100V	単相 200V		シリーズ名	Z	ZXV
コンセント 定格形状	125V 15A ①	125V 20A ①	250V 15A ②	能力帯(kW)	2.2~3.6	4.0~
電源コード長さ (左出し/右出し)	1.1/1.8m		0.65/1.3m	最大配管長(m)	12	15
				最大高低差(m)	8	10
				最大曲げ箇所	10カ所	

- この室内ユニットは、前パネルを取外さないで据付けることができます。
- この据付図は別売の延長パイプを使用した例です。



## 室外ユニット固定用穴位置図



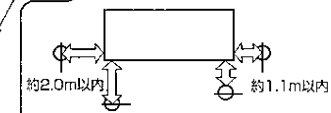
※上記の(←)印寸法は、エアコンの性能を保証するために必要な空間です。後々のサービス、補修なども考慮してできるだけ周囲の空間が大きくとれる場所に設置してください。

- 注1. 風通しが悪くショートサイクルがおきやすい場合は、冷暖房能力および消費電力が10%程度悪化する場合があります。吹出ガイド(別売部品)を付けると冷暖房能力および消費電力の改善が図れます。
- 注2. 壁に向けて吹出すと壁が汚れる場合があります。

内外接続電線が壁の中の金属部などに接触したり、壁が中空の場合ねずみにかじられて感電などの危険が生じる場合がありますので、壁穴用スリーブは必ずご使用ください。

ガス漏れ検査後スキマがないように断熱材を突き合わせてください。

換気ホース接続時のご注意  
付属部品で据付けできる範囲  
右・下配管の場合: 約1.1m以内  
左・左下配管の場合: 約2m以内



余裕のない突っ張った引回しの場合は温度変化による換気ホースの長さの収縮により、不具合が生じる可能性があります。

換気ホースと同一経路とし下りこう配をとってください。換気ホース内で水滴が溜まり、異音(ポコポコ)が発生する原因となります。

換気ホース⑦、⑧の中に小石やゴミ、ちり、ほこりなど異物が入らないようにしてください。

換気ホース⑦、⑧はドレンホースと同一経路を折れやつぶれないように余裕をもって引回し、適切な長さで切断してください。

2.7m以上の換気ホースを使用する場合は延長用換気ホースセット(別売部品)をご使用ください。最大5mまで延長が可能です。

換気ホース⑦、⑧の切断は必ずカッターまたはナイフを用いて、切断面を直角に、扁平のないように行ってください。

配管化粧カバーのご注意  
化粧カバーを使用しない場合  
換気ホースの末端を配管穴より約100mm出るようにカットし、虫よけカバー⑩を取付けビニールテープ⑨で巻いて吹出し方向が下向きになるように固定してください。

化粧カバーを使用する場合  
換気ホースの末端を配管穴より約40mm出るようにカットし、虫よけカバー⑩を取付けビニールテープ⑨で巻いて固定してください。

虫よけカバー⑩  
※雨水などの浸入を防ぐため必ず下向きに固定してください。

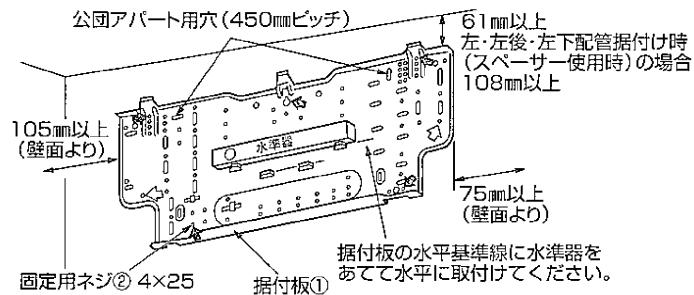
ドレンホース  
冷媒配管  
推奨品: INABA電工 SWK-77N  
ウォールコーナ-換気エアコン用  
SD異径アダプタ SDI-77-66

# 室内ユニットの据付手順

## 1) 据付板の固定

### 壁に直付けする場合

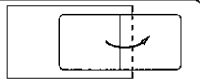
壁内の構造体（間柱など）をさがして強固に取付けてください。



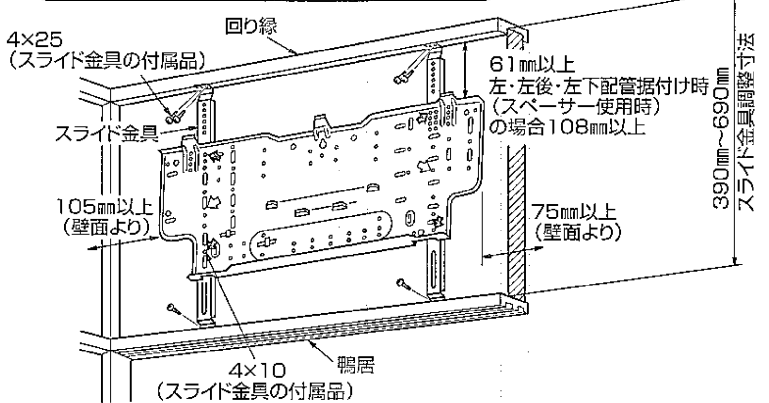
公団アパート用穴使用時は、アンカーボルトの壁面からの飛出し代が15mm以下になるようカットしてください。

据付板①の微振動を防ぐため、 $\forall$ 位置の穴は必ず固定してください。  
 $\forall$ 部も可能な限り固定してください。

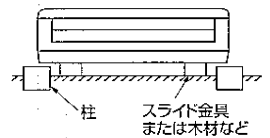
◎本紙を型紙として使用する場合は裏面のキリトリ線に沿って切込みを入れハセンで折曲げて、ご利用ください。



### 回り縁と鴨居に据付ける場合

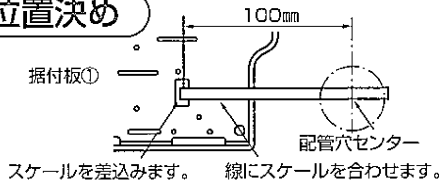


◎3尺柱間など柱が壁面より出っ張っている部分は、スライド金具（別売部品）または木材など（現地手配）を使用して、室内ユニットが柱に当たらないようにして据付けてください。



## 2) 穴あけ

### 壁穴位置決め



### 壁穴あけ手順

φ65mmまたはφ70mm以上の穴を外側に約5~7mm下がりぎみにあけます。壁穴用スリーブ⑬をはめ込みます。

左穴の場合も同様に行います。

### 壁穴のシール

パテまたは、コーキング材でシールして仕上げます。外気が進入すると、室温検知や運転動作などに悪影響を与えます。

第三種機械換気設備として使用する場合はφ70mm以上の穴をあけてください。

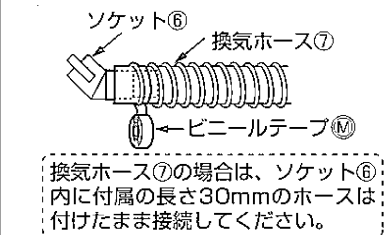
## 3) 換気ホース接続

(1) ソケット⑥を換気ホース⑦、⑧に差し込みビニールテープ⑭で巻いて固定してください。

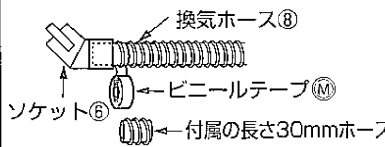
(2) ソケット⑥を本体換気ホース接続部の根元まで挿入して、ソケット部のツメが本体接続部の突起に確実に引掛っていることを確認してください。

(4) 接続ジョイント⑨を使用して換気ホースを延長する場合は、下図のようにビニールテープ⑭で巻いて固定してください。

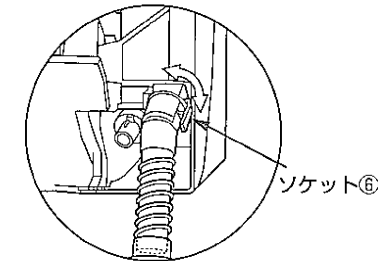
(5) 換気ホースの末端は虫よけカバー⑩を取付けてビニールテープ⑭で巻いて固定してください。



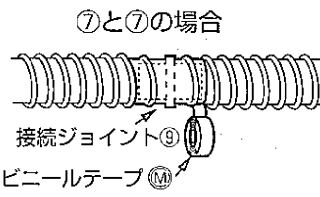
換気ホース⑦の場合は、ソケット⑥内に付属の長さ30mmのホースは付けたまま接続してください。



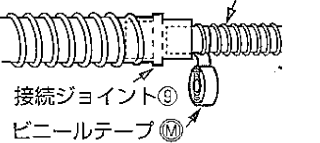
換気ホース⑧の場合は、ソケット⑥内に付属の長さ30mmのホースは外して、換気ホース⑧をねじ込んで取付けてください。



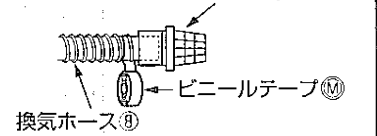
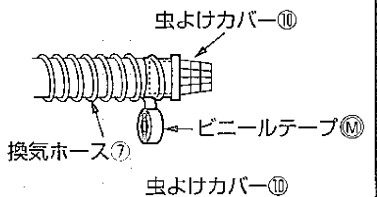
(3) 換気ホース⑦、⑧に、折れやつぶれがないようにソケット⑥を回転させ、配管とりまわし方向に向けてください。



⑦と⑦の場合  
ねじ込んで取付けてください。



⑦と⑧の場合  
ねじ込んで取付けてください。



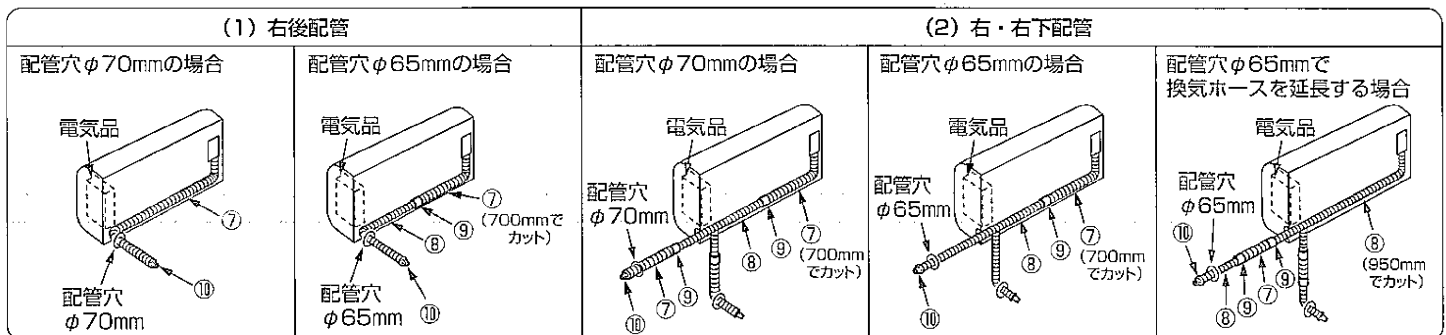
配管穴φ65mmの場合、配管穴部には換気ホース⑧をご使用ください。

取付けの際は換気ホース⑦、⑧を強く引っ張らないでください。異音が発生する原因となります。

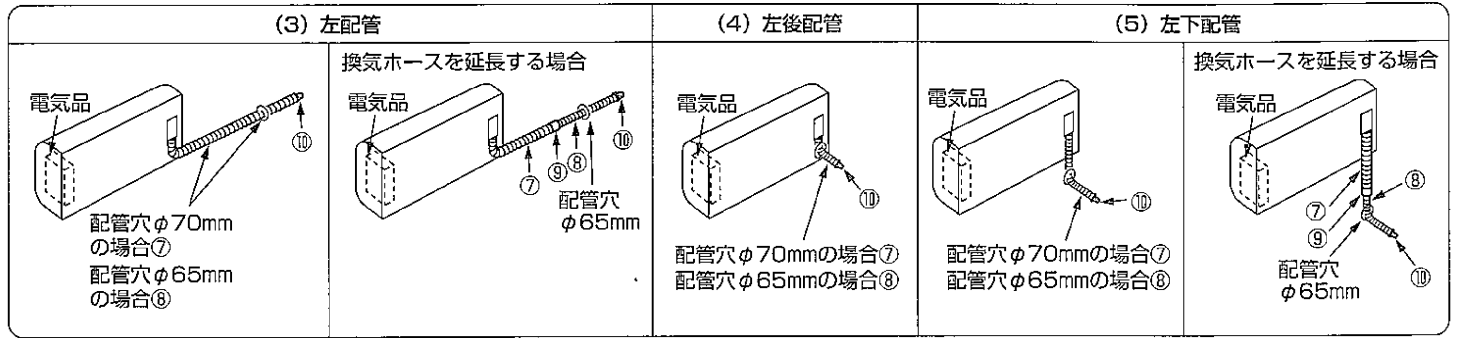
## 換気ホースの引出し

据付場所の状況に応じ、換気ホースとジョイントを適正に組み合わせて接続し、配管してください。

注意 | 換気ホースはできるだけ⑦を使用してください。右・右下配管の電気品の下を通る部分および、配管穴φ65mmの部分には、換気ホース⑧を使用してください。



# 室内ユニットの据付手順 (つづき)



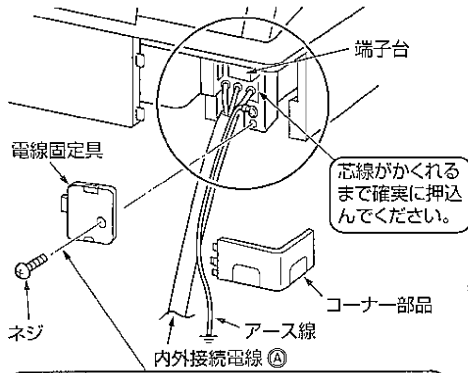
## 4) 室内ユニットの据付け

### 後・右・下配管の場合

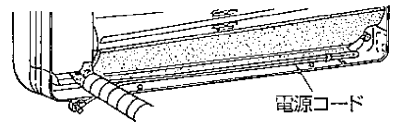
#### (1) 内外接続電線の接続

前パネルを取外さないで接続できます。室内ユニット右下部のコーナー部品を取外し、電線固定具を取外します。右図のように端末加工をしてから、端子台上に差込みます。

- 内外接続電線①は芯線がかくれるまで確実に押込んでください。
- 内外接続電線①を端子台上に接続後、必ず電線固定具で内外接続電線①を固定してください。



余分な電源コードは束ねないで、右図のように収納してください。

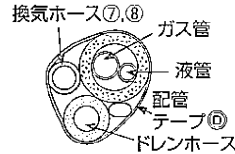


#### (2) 配管・換気ホースの引出し

配管のまとめ

- 冷媒配管、ドレンホース、換気ホース⑦、⑧をまとめて配管テープ⑩でテーピングします。配管テープ⑩を根元近くからしっかりと巻いてください。
- ドレンホースが持ち上がらないように注意してください。ドレンホースは抜けるおそれがありますので、強く引張らないでください。

電線固定具の左側のツメを引掛けて内外接続電線①およびアース線を必ず固定してください。



#### (3) 室内ユニットの据付け

- 配管とドレンホース、換気ホース⑦、⑧を壁穴用スリーブ⑥に挿入しながら、据付板①に室内ユニット上部を引掛けます。
- 室内ユニットを左右に動かし、確実に引掛かっていることを確かめます。
- 室内ユニット下部を据付板①に押し込んで固定します。

### 左・左後・左下配管の場合

#### (1) ドレンホースのつけかえ方法

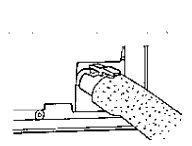
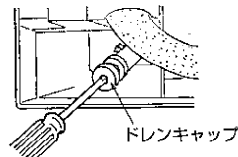
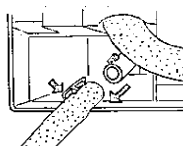
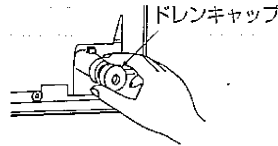
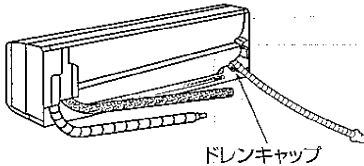
左、左後、左下配管の場合は必ずドレンホースおよびドレンキャップのつけかえを行ってください。つけ忘れおよびつけかえない場合は露たれの原因になります。

〈1〉ドレンキャップを抜きとる  
先端の凸部をつまんで抜きとる。

〈2〉ドレンホースを抜きとる  
ツメの矢印をつまみ、ドレンホースを手前へ抜いてください。

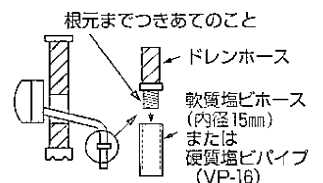
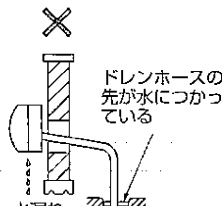
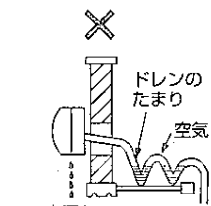
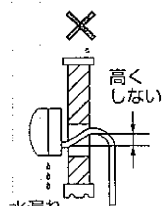
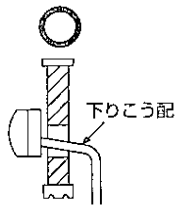
〈3〉ドレンキャップを差込む  
先端の穴にドライバーなど差込んで、ドレンパンのつけなまで確実に差込んでください。

〈4〉ドレンホースを差込む  
ドレンホースをドレンパンの根元まで挿入して、ドレンホースのツメがドレンパンの突起に確実に引掛かっていることを確認してください。



#### 〈室内側ドレン配管〉

●ドレン配管はドレンが流れやすいように、必ず下りこう配をつけて配管してください。(図1) 図2～図5のようなドレン配管は絶対にしないでください。



(図1)

(図2)

(図3)

(図4)

(図5)

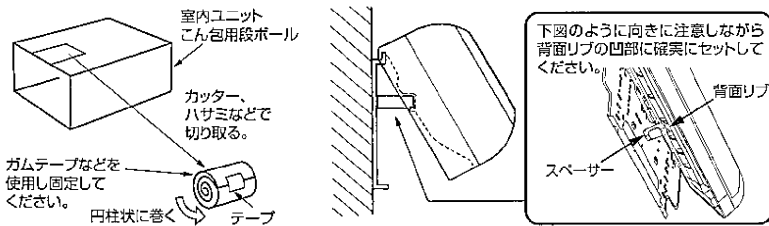
(図6)

- ドレンホースが短い場合は、図6の方法で配管してください。
- 高層住宅など、高所に据付ける場合、強風によるドレンホース内の逆流により室内ユニットからの水漏れがおきる場合があります。対応部品を用意しておりますので必要な場合には最寄りの「三菱電機システムサービス」にお問合わせください。
- ドレンホースが室内を通る場合は必ず市販の断熱材を巻いてください。
- 壁埋込み配管などで、ドレンホースの接続を行う場合は、室内左右下のコーナー部品を外して行ってください。
- ドレン配管を、アンモニアガス・イオウ系ガスの発生する下水槽や浄化槽などに直接入れないでください。
- ドレンホース途中にたるみがあったり、ホース先端が持ち上がったりしていると、ホース内にドレン水が溜り、強風の場合、あるいは高气密住宅でレンジフードなど(換気扇)を使用した場合、ドレン水がスムーズに流れず、異音(ポコポコ)が発生する場合があります。異音の対応部品は、「ドレンエア逆流防止部品」(別売部品MAC-850GB)をご使用ください。

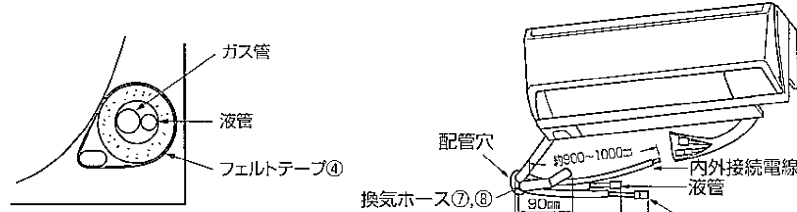
# 室内ユニットの据付手順 (つづき)

## (3) 室内ユニットの据付け・配管接続

〈1〉据付板①に室内ユニット上部を引掛け、配管収納を考慮して、左側いっぱいに寄せます。下図のようにこん包用段ボールの一部をカットして円柱状に巻き、スペーサーとして背面リブに引掛け、室内ユニットを持ち上げます。



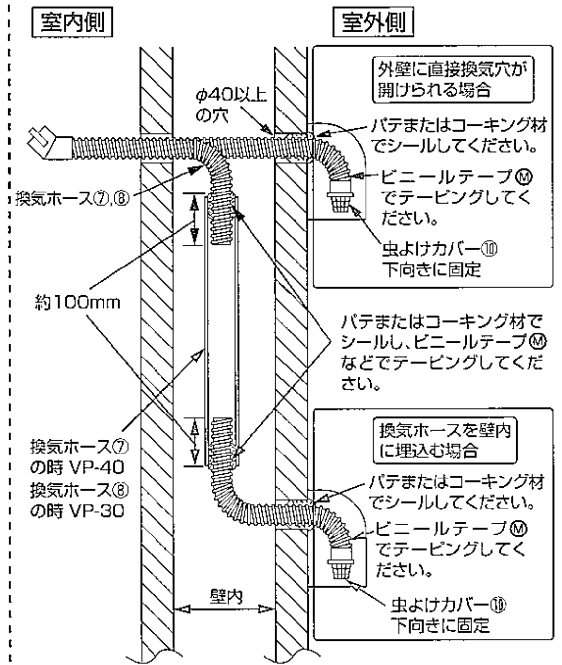
〈2〉冷媒配管、ドレンホース、内外接続電線④、換気ホース⑦、⑧を接続します。  
 ●ドレンホースが室内を通る場合は、必ず市販の断熱材を巻いてください。  
 ●内外接続電線の接続方法詳細は、後・右・下配管の内外接続電線の接続による。  
 ●冷媒配管、内外接続電線④、換気ホース⑦、⑧の引込み長さの目安は下図による。



・冷媒配管(延長配管)の引込み長さの目安は、据付板①に記載の本体配管接続部の略図もご覧ください。

〈3〉室外ユニット据付後石けん水でリークテストを行い、フェルトテープ④で配管を巻き、本体裏側配管収納部に収納します。室内ユニット下部を据付板①に押し込んで固定します。

## 埋込み配管の場合



# 室外ユニットの据付手順

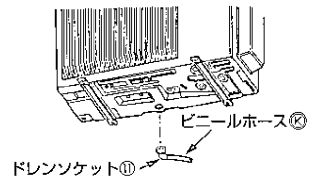
## 1) 室外側ドレン配管

〈ドレン処理について〉

- ・室内外の配管接続より先にドレン処理してください。(室内外の配管接続後に行くと、室外ユニットが動かなくなり、ドレンソケット⑩が取付けにくくなります。)
- ・市販の内径15mmのビニールホース⑩を図の位置に接続してドレン水を導いてください。
- ・ドレン配管はドレン水が流れやすいように必ず下りこう配をつけて配管してください。

### 寒冷地における注意事項

寒冷地では、ドレン水が凍結し、ファンが回らなくなるおそれがありますので、ドレンソケット⑩は取付けないでください。



## 2) 配管加工

(1) パイプ切断

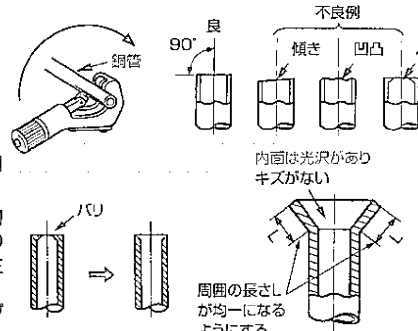
パイプの長さに余裕(300mm~500mm)を見て切断してください。

(2) バリ取り

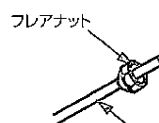
切粉が配管内に入らないように下向きに行ってください。

・配管内部にバリ・砂・水などの異物が混入しますと圧縮機などの故障の原因になります。取扱いには十分注意してください。

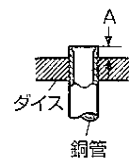
パイプの曲げ加工は十分注意して、パイプをつぶしたり折らないようにしてください。



(3) フレアナット挿入



(4) フレア加工

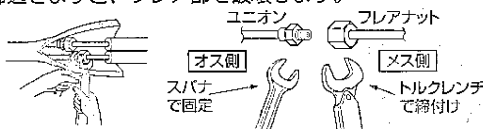


パイプ径 (mm)	A寸法 (mm)		
	R410A用フレアツール	R22用フレアツール	
	リジット (クラッチ) 式	クバアルのクバ式	
φ6.35mm (1/4")	0~0.5	1.0~1.5	1.5~2.0
φ9.52mm (3/8")	0~0.5	1.0~1.5	1.5~2.0
φ12.7mm (1/2")	0~0.5	1.0~1.5	2.0~2.5

## 3) 配管接続

室内ユニットの接続

- (1) パイプとユニオンのシート面には、冷凍機油⑨を塗布してください。
- (2) 接続は中心を合わせ、フレアナットは最初の3~4回転を手で締めます。
- (3) 室内側ユニオン部の締付けは下表を目安にして必ず2丁スパナでトルクレンチを使用し締付けてください。締過ぎますと、フレア部を破壊します。

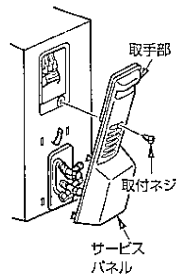


パイプ径	締付トルク
φ6.35mm (1/4")	14~18N・m (140~180kgf・cm)
φ9.52mm (3/8")	34~42N・m (340~420kgf・cm)
φ12.7mm (1/2")	49~61N・m (490~610kgf・cm)

締過ぎますと、据付条件によってはナットが割れる場合があります。

室外ユニットの接続

- (1) 右図の取付ネジ1本を外します。
- (2) サービスパネルを下側に押下げてから取手部を手前に引いて取外してください。
- (3) 室内ユニットと同様にして、室外ユニットのストッパバルブ(2方弁、3方弁)の各配管接続口へパイプを接続してください。
- (4) 締付けはトルクレンチを用いて、室内ユニットと同じ締付トルクで行ってください。



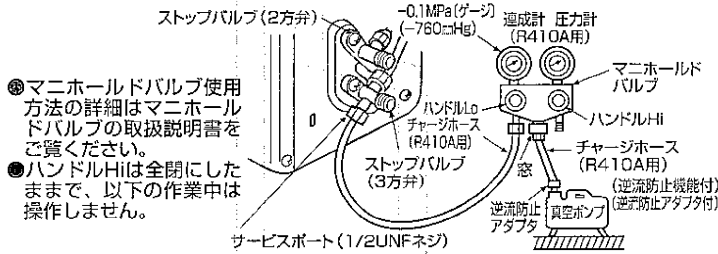
冷媒配管

	液管	ガス管
外径・肉厚	φ6.35mm (1/4") 0.8mm	φ9.52mm (3/8") 0.8mm / φ12.7mm (1/2") 1.0mm
材料および規格	リン脱炭素 C1220T JISH3300	
断熱材	耐熱発泡ポリエチレン 比重0.045 肉厚8mm	
	●接続配管は2本分離して1本毎に断熱してください。	
	薄肉管(肉厚0.7mmなど)は、使用しないでください。	

**注意**  
 接続時に配管内部に水が浸入すると、圧縮機の故障ならびに、性能低下につながります。配管加工時や接続時に水が入らないように十分注意すると共に、配管接続後は真空引きを必ず実施してください。

# 室外ユニットの据付手順 (つづき)

## 4) 真空引き・リークテスト 地球環境保護の観点からエアパージは真空ポンプ方式でお願いします。



- マニホールドバルブ使用方法の詳細はマンニホールドバルブの取扱説明書をご覧ください。
  - ハンドルHは全閉にしたままで、以下の作業中は操作しません。
- 配管接続が確実に行われたかを確認する。
- ストップバルブ (3方弁) のサービスポートへマンニホールドバルブのチャージホースの突起側 (虫ピンを押す側) を接続する。
- ストップバルブ (2方弁、3方弁) の弁が全閉になっていることを確認し、チャージホースを真空ポンプに接続する。
- マンニホールドバルブのハンドルLを全開にし真空ポンプを運転する。ストップバルブ (3方弁) のフレアナットを少しゆるめエアが入っていくことを確認し、再度フレアナットを締める。  
(エアが入っていない場合はチャージホースがサービスポートへしっかり接続されているか再確認してください。)
- 真空引きを行い、連成計が $-0.1\text{MPa}$  (ゲージ) ( $-760\text{mmHg}$ ) に近づいたら、一旦ハンドルLを全閉にし、3分程度このままの状態にして針が戻らないことを確認します。再度ハンドルLを全開にして真空引きを続けます。
- 真空引きを15分以上行い連成計が $-0.1\text{MPa}$  (ゲージ) ( $-760\text{mmHg}$ ) になっていることを確認する。
- 真空引きが終わったらマンニホールドバルブのハンドルLを全閉にし真空ポンプ側のチャージホースをゆるめ、エアを吸込ませてから真空ポンプの運転を止める。

3分程度このままの状態にして針が戻らないことを確認し、ストップバルブ (2方弁、3方弁) の弁棒を反時計方向に当たるまでいっぱいにまわし、全開にする。ストップバーに当たったら、それ以上に力を加えない。

延長配管が10mを超える場合  
追加冷凍質量は  $30 \times (\text{延長配管長} - 5) \text{g}$

延長配管が10m以下の場合  
追加チャージ不要。

ストップバルブ (3方弁) のサービスポートよりチャージホースを外す。

サービスポートのキャップは締付トルクが急に増加するところよりさらに1/12回転締付ける。(締付トルク  $14 \sim 18\text{N} \cdot \text{m}$  ( $140 \sim 180\text{kgf} \cdot \text{cm}$ ) に相当する。)

ストップバルブ (2方弁、3方弁) の弁棒用キャップは締付トルクが急に増加するところよりさらに1/12回転締付ける。(締付トルク  $20 \sim 30\text{N} \cdot \text{m}$  ( $200 \sim 300\text{kgf} \cdot \text{cm}$ ) に相当する。)

リークテストは石けん水を利用して室内側、室外側ともに実施してください。ガス漏れがある場合は、ガス漏れ部より泡が出ます。泡が出ないことを確認してください。

注1. 冷媒充てん用電子はかりを使用して、ポンベの液相から冷媒を充てんしてください。ただし液冷媒を一気にチャージすると圧縮機が故障するおそれがありますので、徐々にチャージしてください。

注2. サービスポートのキャップ及び弁棒用キャップは必ず取付けてください。

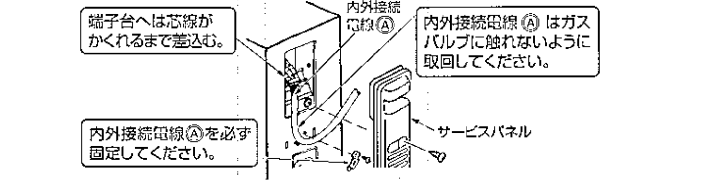
● 締付トルクが大きすぎると、フレア部を破損し、ガス漏れの原因になります。

● フレア部が破損すると、増締めしてもガス漏れは止まりません。

ガス漏れの場合  
● フレアナット接続部を増締めしてください。  
● 増締めを行っても止まらない場合は、漏れ箇所修理後サービスポートより本体ガスをすべて回収し、ガスポンベより規定量を充てんしてください。

## 5) 内外接続電線の接続・断熱とテーピング

内外接続電線の接続  
● サービス時を考慮し、内外接続電線 (A) には余裕をもたせてください。



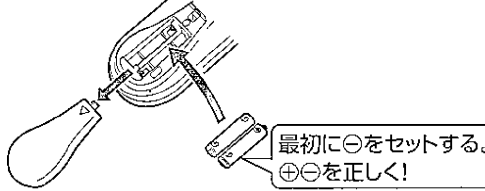
断熱とテーピング  
1) パイプカバーで接続部の配管をおおいます。  
2) 室外側はバルブ部までしっかり断熱してください。

天井裏や押入れなど高温、多湿な場所へ配管を通す場合には、露付き防止のためさらに市販の断熱材を巻き加えてください。

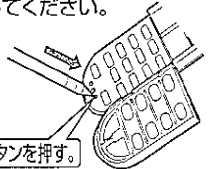
## 試運転 (必ず実施してください)

- 電源は定格電圧と合っているか必ず確認してください。  
電源プラグをコンセントに差し込みます。
- 応急運転スイッチを押してください。  
(30分間は試運転となります。)  
(1) 1回押すと冷房試運転を開始します。  
この時、約5秒から3分後に運転ランプが点滅する場合は内外接続電線 (A) の誤配線を点検してください。  
(2) もう1回押すと暖房試運転を開始します。  
(3) もう1回押すと常時換気設定状態になります。  
(この時、3秒以上放置すると停止になります。)  
※ 試運転での常時換気設定は行わないでください。  
(4) もう1回押すと運転が停止します。  
(応急運転スイッチを押すごとに (1) → (2) → (3) → (4) を繰り返します。)  
応急運転スイッチを押すと30分間試運転 (温度調節がはたらかず連続運転) の状態になり、30分以降は応急運転 (冷暖房共設定温度  $24^\circ\text{C}$ ) となります。

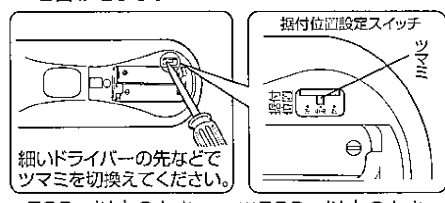
- リモコンの送信を確認してください。  
(1) リモコンの裏ボタンを引抜き、乾電池を入れて裏ボタンを取付けます。



- 「電池交換後押す」ボタンを押します。  
・ 「電池交換後押す」ボタンを押さないと、正しく動作しないことがあります。  
・ 「電池交換後押す」ボタンを強く押しすぎないように注意してください。



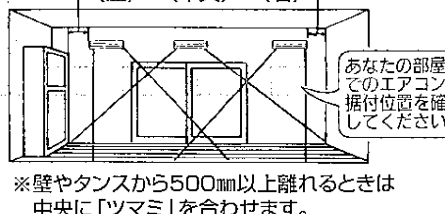
- 室内ユニットの据付位置をセットします。  
裏ボタンを開け、室内ユニットの据付位置にツマミを合わせます。



※ 500mm以内のとき ※ 500mm以内のとき

- リモコンの入/切ボタンを押して、室内ユニット本体が「ピッ」と鳴るのを確認してください。もう1度ボタンを押して「切」にしてください。  
リモコンで操作した場合は、リモコンの指令にしたがい、試運転、応急運転がともに解除されます。

〈据付後には必ず試運転を実施してください。〉  
各部の温度や圧力を計測する場合は、起動から10分以降にチェックを行ってください。起動10分以内は温度や圧力が変動し、正確に計測できない場合があります。



- 換気運転を確認してください。  
・ 換気ホースが接続できない場合は、「換気機能なし」の設定を行ってください。設定方法の詳細は、「据付場所の選定」をご覧ください。  
・ 換気ホースを接続した場合、リモコンの換気ボタンを押して、換気風量が3段階に切替ること、換気ホースの破れ、異常音がないことを確認してください。
- リモコンの入/切ボタンを押して、運転を「切」にしてください。  
● 一旦、圧縮機が停止すると、機器保護のため3分間再起動防止機構が作動し3分間は圧縮機が再運転しないようになっています。

## ポンプダウンの手順 (強制冷房運転)

移設または廃却時に、冷媒を大気へ放出しないため、下記の手順にしたがってポンプダウンを実施してください。

- (1) 室外ユニットのガス側ストップバルブ(3方弁)のところにサービスポートにゲージマニホールドバルブ(圧力計付)を接続し冷媒圧力が測定できるようにする。
- (2) 室外ユニットの液側ストップバルブ(2方弁)を全閉する。
- (3) 室外ユニットのガス側ストップバルブ(3方弁)をあらかじめ全閉近くまで閉める。  
【圧力計の指示が0MPa(ゲージ)(0kgf/cm<sup>2</sup>)に近づいたとき、容易に全閉ができるように準備する。】
- (4) 強制冷房運転をする。強制冷房運転は電源プラグを抜くかブレーカーを切り、約15秒後に再度入れ室内ユニットの応急運転スイッチを1回押す。  
(30分間連続の冷房運転ができます。)
- (5) 圧力計が0.05~0MPa(ゲージ)(約0.5~0kgf/cm<sup>2</sup>)でガス側ストップバルブ(3方弁)を全閉する。
- (6) 運転を停止する。運転停止は室内ユニットの応急運転スイッチを3回押す。

## アースの取付け

Ⓧエアコン回路のアース工事は、「電気設備に関する技術基準」にしたがって電気工事の方が実施してください。

電源の条件	据付場所			
	エアコンの種類	水気のある場所	湿気の多い場所	乾燥した場所
交流対地電圧が150V以下の場合	単相100Vの機種 単相200V(単相3線式200V電線)の機種		D種接地工事が 必要です。	D種接地工事は 法的には除外されて いますが安全のため 接地工事をしてください。
交流対地電圧が150Vを超える場合	三相200Vの機種	漏電ブレーカーを取付け、さらにD種接地工事が 必要です。		

<D種接地工事について>

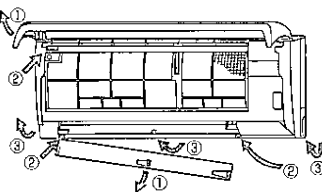
- Ⓧ接地工事は電気工事の方が実施してください。
- Ⓧ接地抵抗値は100Ω以下であることを確かめてください。(漏電ブレーカーを取付けた場合は500Ω以下であることを確かめてください。)
- Ⓧ単相200V機種の場合は、室内電源コードがアース付きになっております。



## 前パネルの取外し・取付けかた

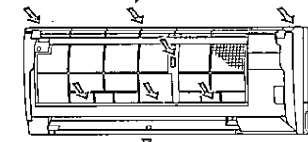
### 取外し

- ①丸洗いパネルと上下風向フラップを取外します。
- ②前パネルの3本のネジを外します。
- ③前パネルを下側から取外します。

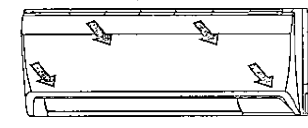


### 取付け

上記①~③を逆の手順で行ってください。前パネルを取付けた時に右図の矢印部を必ず押してください。

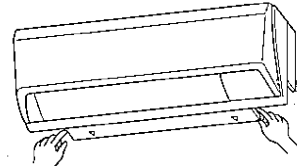


丸洗いパネルを取付けた時に右図の矢印部をカチッと音がするまで押してください。  
※上下風向フラップ・丸洗いパネルの取付け・取外しかたの詳細は、取扱説明書をご覧ください。



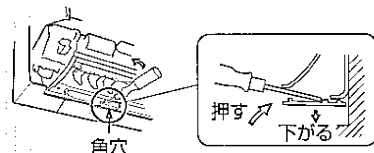
## 室内ユニットの外しかた

室内ユニットの左右下コーナー部を外し、下図のように室内ユニットの左右下部を下側へ引きながら少し手前へ引けば、フックが外れます。



### 上記の方法ができない場合

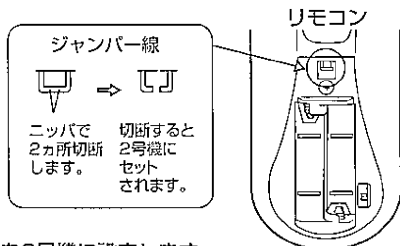
鴨居などにより上記の方法ができない場合は、前パネルを取外し、下図のように、左右の角穴にドライバなどを差込み、上側に押せば室内ユニットの下面が下側に下がりフックが外れます。



## 同じ部屋にエアコンを2台設置する場合

Ⓧ同じ部屋にエアコンを2台設置した場合、1つのリモコンの信号を2台のエアコンが同時に受信してしまうことがあります。この誤作動を防止するためにリモコンによる号機切換機能を設定することが可能です。

- 1) リモコンを2号機に設定します。(出荷状態では全て1号機に設定してあります。) リモコンは電池フタを開けて、乾電池をセットする前に、ジャンパー線をニッパーで切断します。



- 2) 室内ユニットを2号機に設定します。

- ①電源プラグをコンセントに差込みます。
- ②2号機に変更したリモコンの信号を、「入/切」ボタンを押して室内ユニットに送信します。この時、1号機に設定したい室内ユニットが、2号機の信号を受信しないようにしてください。(室内ユニットが1回目のリモコン受信をしたリモコンの設定号機となります。2回目のリモコン受信からは、1回目に受信した号機のリモコンのみ受け付けます。)

・停電・電源プラグをコンセントから外す・ブレーカーを「切」にした場合は、号機設定が失われます。  
その場合は、再度設定をしてください。  
・一度電源プラグをコンセントから外した場合は、30秒以上経ってから、電源プラグをコンセントに差込んでください。  
・以上の内容は、お客さまに必ずご説明ください。

## 高天井モードの設定 (ZXVの場合)

Ⓧ据付高さにより「通常モード」または「高天井モード」に設置してください。

	通常モード	高天井モード
据付高さ	2m以下	2mを超え2.3m以下

設定方法 (出荷状態では全て通常モードに設定してあります。)

- 1) 電源は、定格電圧と合っているか必ず確認してください。
- 2) 電源プラグをコンセントに差込みます。
- 3) 応急運転スイッチを「ピッ」と鳴るまで長押ししてください。(約5秒間) 据付高さ以上の操作で、「高天井モード」への設定は、完了します。

### 解除方法

- Ⓧ応急運転スイッチを「ピッピッ」と鳴るまで長押ししてください。(約5秒間) 以上の操作で、「高天井モード」が解除され「通常モード」へ戻ります。

## 遠隔操作するために

本機のみでは、遠隔操作はできません。

- Ⓧ接続には別売 遠隔制御用ITコントローラーみまもりさーばー (MAC-555MM) とインターネットに接続された無線LAN環境、または別売 遠隔制御用インターフェイス (MAC-384 I F)、M-NET制御用インターフェイス (MAC-388 I F) が必要です。

Ⓧ詳細な接続方法については、(MAC-555MM)、(MAC-384 I F)、(MAC-388 I F) 付属の説明書または、三菱ルームエアコン霧ヶ峰、三菱ハウジングエアコン用営業技術ポケットマニュアルをご覧ください。